

開設科目名	疫学 I	科目コード	BSNLH127	開設期	1年 後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	井手 悠一郎	担当者	井手 悠一郎		
授業の概要(授業の目的)					
疫学は伝染病対策のために利用されてきたが、第二次世界大戦後は生活習慣病の発生要因の解明とその予防のために利用されている。公衆衛生活動の基礎的方法論でもある疫学とはどのような学問であり、疫学的な因果推論とはどのような概念であるかを理解する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
疫学的思考について理解する。				ケアリング/科学的思考と問題解決能力	
自ら学習する態度を身につける。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	疫学とは、疫学が明らかしてきたこと	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4時間
2	有病率、累積罹患率、罹患率	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4時間
3	曝露と結果指標、研究仮説、相対危険	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4時間
4	母集団と標本、コホート研究	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4時間
5	症例対照研究、介入研究	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4時間
6	バイアスとその制御	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4時間
7	交絡とその制御	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4時間
8	背理法、関連と因果関係、臨床疫学とエビデンス、研究倫理	講義(面接)	井手	授業内容の復習	2時間
成績評価方法・基準	①各回の小テスト 50%(各回終了後に WebClass(疫学 I)上で実施します) ②定期試験 50%(筆記試験または WebClass 上で実施します)				
課題に対するフィードバック	試験後、各評価結果を WebClass にて個別にフィードバックします。				
教科書	特に指定しない。				
参考書・参考文献	医学書院『基礎から学ぶ 楽しい疫学』(第4版) 参考文献 (Immunogenicity of a monovalent influenza A(H1N1)pdm09 vaccine in patients with hematological malignancies)				
ワイアー 学習相談 メッセージ その他	<p>疫学 I で触れなかった他の研究デザインやスクリーニング、倫理的配慮等については、4年次開講科目、疫学 II で取り扱います。疫学についてさらに学びたい方や保健師コース履修者の方は、そちらの科目も履修してください。</p> <p>また本科目は、society5.0に向けた『データヘルスサイエンス入門プログラム』の一部です。society5.0に向け、全ての大学生が身に着けるべきデータ活用のための知識と技術を中心に展開します。疫学 I ・データリテラシー基礎(1年次) データリテラシー演習(2年次)、データ分析応用基礎(3年次)、疫学 II ・保健統計学(4年次)と、段階的にデータ思考を学ぶプログラムの基礎となる科目です。次年度以降、当該選択科目は積極的に履修してください。</p> <p>連絡先 井手悠一郎(6号館2階 井手悠一郎研究室)、オフィスアワー: 火曜 16:00~17:00 ※上記時間帯以外に訪問したい場合は事前予約をしてください。 またメール等での質問にも対応しております。(アドレスについては Office 365 を参照してください)</p> <p>ICTの活用: 各回の小テスト、成績評価のフィードバックは WebClass を用いて実施します。 その他: 第7回については「Immunogenicity of a monovalent influenza A(H1N1)pdm09 vaccine in patients with hematological malignancies」に関する研究成果を一部参照して、講義を展開します。</p>				